



薬学と生命科学のサイエンス体験

薬学部・生命科学部の学びを体験できる講義＋実習型プログラムです。薬の性質や作用をテーマに、分析・作用・臨床応用、さらに生命科学分野の実験までを体験。大学で学ぶサイエンスの流れや研究の面白さを、実際に手を動かしながら理解できます。

薬学部 オーバードーズの真相に迫れ

若者が救急搬送された原因は何だったのか。現場に残された情報や症状を手掛かりに、薬学の視点から「オーバードーズ」の真相に迫る体験型実習です。

1 薬の効き方を理解せよ 作用と毒性のサイエンス

薬が体にどう働き、過剰になると何が起こるのかを学んでいきます。

 教育5号館2階
5201教室



2 原因物質を突き止めよ 薬物分析のサイエンス

現場に残された情報をもとに、原因となった薬物を推定。薬物分析を体験します。

 教育5号館3階
5301教室



3 中毒症状を見極めよ 臨床現場のサイエンス

薬物でどのような中毒症状が現れるのかを医療用高機能シミュレーターで可視化します。

 教育5号館5階
シミュレーション
ルーム



予約枠

コースA

10:40~12:20

コースB

11:15~12:55

コースC

11:50~13:30

すべてのコース内容は同じで、①~③の3コマセットで講義を体験します。1コマ(30分)のみの選択はできません。

生命科学部

試験管の「光」から、地球の「未来」へ。

—GFP精製で学ぶ、分子・医療・環境(3学科)のつながり—

 11:00~11:50  研究4号館1階 実習室2

「光るタンパク質 (GFP)」を自分の手で取り出し、その輝きの向こうにある「プラネタリーヘルス (人と地球の健康)」という大きなテーマに触れるプログラムです。試験管の中の小さな現象が、医療の進歩や環境保全にどう結びつくのか。GFPを題材に、東薬の3学科(分子・医科・応用)が担うそれぞれの役割と、社会を変える力を紐解きます。

